

平成22年度石川県リハビリテーションセンター事業実績

1. 県地域リハビリテーション支援センター事業

(1) 地域リハビリテーション推進検討会議の開催

①目的

高齢者や障害のある方々が住み慣れた地域で自立した生活を送るためには、リハビリテーションが総合的かつ一貫性をもって提供される必要がある。そこで、地域リハビリテーションサービスの相談・支援と関係機関との連携体制確立を図るため、県地域リハビリテーション推進検討会議を開催する。

②会議の構成

学識経験者、医師会等職能団体、患者、障害者団体、市町等の代表者

③実施状況

| 開催期日 | 主 な 議 題 | 出席者数 |
|------------|---|------|
| H23. 3. 22 | ① 平成22年度県リハビリテーションセンター事業の実施状況 ② 平成23年度県リハビリテーションセンター事業の概要 ③ その他 | 23人 |

(2) 地域リハビリテーション支援

①目的

高齢者、障害者が地域でできる限り自立した生活をするためにリハビリテーションの立場から医療、保健、福祉、教育関係機関や市町に対して支援する。

②実施状況

ア 個別支援

| 依 頼 先 | 件 数 |
|------------|------|
| 医療機関 | 126件 |
| 自立支援法関係施設 | 126 |
| 教育機関 | 158 |
| 保健福祉センター | 12 |
| 地域包括支援センター | 2 |
| 市町 | 45 |
| 訪問看護ステーション | 40 |
| 介護保険法関係施設 | 49 |

| 依 頼 先 | 件 数 |
|------------------|-----|
| 職業関連施設 | 1 |
| 難病相談・支援センター | 119 |
| 高次脳機能障害相談・支援センター | 126 |
| その他 | 26 |
| 合 計 | 830 |

イ 身体障害者更生相談所との協働（個別支援）

| 補 装 具 対 象 種 目 | 人 数 (のべ件数) |
|---------------|------------|
| 電動車いす | 9(35件) |
| 車いす(オーダーメイド) | 2(19) |
| 重度障害者用意思伝達装置 | 3(7) |
| 座位保持装置 | 3(12) |
| 合 計 | 17(73) |

ウ 福祉施設、学校への事業支援

| 事 業 支 援 内 容 | 施設数 (のべ件数) |
|------------------|-------------|
| 運動、作業、レクリエーション指導 | 11(38)施設(件) |
| 福祉用具や環境調整 | 3(6) |
| 委員会への参加 | 2(13) |
| 研修会講師 | 7(15) |
| 合 計 | 23(72) |

エ 市町、保健福祉センター等への事業支援

| 事 業 名 | 依 頼 先 | 回 数 |
|------------------------------------|----------------|-----|
| 平成 22 年度心身障害児在宅療育総合支援事業 関係者連絡会 | 能登北部保健福祉センター | 1回 |
| 白山市障害者等自立支援協議会 | 白山市 | 10 |
| 金沢市障害者施策推進協議会・ワキグ [®] 委員会 | 金沢市 | 5 |
| 金沢市義肢装具士連絡協議会準備会 | 〃 | 3 |
| パーキンソン病相談会 | 南加賀保健福祉センター | 2 |
| 〃 | 能登中部保健福祉センター | 1 |
| 脊髄小脳変性症、多系統萎縮症相談会 | 〃 | 1 |
| 後縦靭帯骨化症相談会 | 石川中央保健福祉センター | 1 |
| パーキンソン病、脊髄小脳変性症、多系統萎縮症相 談会 | 〃 | 1 |
| パーキンソン病相談会 | 能登北部保健福祉センター | 1 |
| スポーツ科学分野への理学療法支援 | いしかわ総合スポーツセンター | 3 |
| 合 計 | | 29 |

(6) 他機関への講師派遣

| 研修会及び講義名 | 主催機関 |
|--|--------------------------------|
| 臨床看護概論：リハビリテーション | 石川県立総合看護専門学校の非常勤講師 |
| マニュアルセラピーの実際（実技指導） | 石川県立盲学校 |
| 訪問介護員養成研修2級課程講座 | 財団法人金沢市福祉サービス公社 |
| 平成22年度市町等身体障害者福祉事務担当者研修会「補装具事務取扱指針の一部改正に係る留意点・座位保持装置の完成用部品に係る講義」 | 石川県身体障害者更生相談所 |
| 平成22年度障害程度区分認定にかかる認定調査員研修 | 社会福祉法人石川県社会福祉協議会 |
| 高次脳障害の特性と対応の仕方について | 小松市自立支援協議会 |
| 地域リハビリテーション講演会 災害時のリハビリテーションの関わり | 富山県リハビリテーション支援センター |
| バリアフリー北陸信越ブロック地域連絡会 | 北陸信越運輸局 |
| バリアフリーに関する福祉関係者と建築関係者の検討会 | 石川県健康福祉部厚生政策課、NPO法人バリアフリー総合研究所 |
| 平成22年度バリアフリー住宅改修講習会 「身体特性からみた住環境のポイントと最近の動向」 | 石川県土木部建築住宅課、NPO法人バリアフリー総合研究所 |
| バリアフリー住環境専門相談員・スキルアップ研修 | NPO法人バリアフリー総合研究所 |
| 石川県バリアフリー社会推進に関する条例 「施設整備の手引き」講習会 | 石川県土木部建築住宅課、NPO法人バリアフリー総合研究所 |
| 全国高校野球選手権石川大会 | 石川県高等学校野球連盟 |

2. 研修

(1) 地域リハビリテーション研修会 (対象：医療、保健、福祉関係施設職員)

| 実施年月日 | 内容及び講師 | 会場 | 参加者数 |
|-----------------------------------|--|---------------|--------------|
| 平成22年 10月10日(日) 13:30~16:00 | <ul style="list-style-type: none"> 現状報告「通所サービスにおける県内の取り組み」 介護予防通所リハビリテーションやわた健康スタジオ 主任作業療法士 杉浦 有子 児童デイサービスキッズルームキャロット サービス管理責任者 中川 等史 講演「在宅障害者の生き甲斐作りへの新たな取り組み -夢のみずうみ村の取り組み」 特定非営利活動法人 夢の湖舎 夢のみずうみ村 代表 藤原 茂 | リハビリテーションセンター | 人 145 |

(2) 地域リハビリテーション実務者研修会 (対象：介護保険関係施設のリハビリ担当者等) 「リハビリテーションアプローチの実際」(各圏域で開催)

| 時間 | 研修内容 |
|-------------|----------------------|
| 10:50~11:00 | あいさつ、オリエンテーション |
| 11:00~12:10 | ①排泄動作に対するアプローチの実際 |
| 13:00~14:10 | ②立位・歩行動作に対するアプローチの実際 |
| 14:20~15:30 | ③構音障害に対するアプローチの実際 |

| 実施年月日 | 内容及び講師 | 会場 | 参加者数 |
|----------------------------------|---|---------------|---------|
| 平成22年 7月20日(火) 10:50~15:30 | ①公立能登総合病院 作業療法士 山岸真喜子 ②特別養護老人ホームこすもす 理学療法士 水上 直彦 ③珠洲市総合病院 言語聴覚士 矢内 真美 | 生涯学習センター能登分室 | 43人 |
| 平成22年 7月29日(木) 10:50~15:30 | ①芳珠記念病院 作業療法士 光田 雅人 ②やわた健康スタジオ 理学療法士 茶谷 雅明 ③加賀市民病院 言語聴覚士 後藤 理子 | 南加賀保健福祉センター | 52 |
| 実施年月日 | 内容及び講師 | 会場 | 参加者数 |
| 平成22年 8月5日(木) 10:50~15:30 | ①金沢リハビリテーションアカデミー 作業療法士 井上 良 ②金城大学医療健康学部 理学療法士 木林 勉 ③介護老人保健施設 あんじん金沢 言語聴覚士 徳田 紀子 | リハビリテーションセンター | 人 97 |
| 合計 | | | 192 |

(3) リハビリテーション医療専門職研修会 (対象：理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等)

| 実施年月日 | 研修会テーマ及び講師 | 会場 | 参加者数 |
|----------------------------------|---|---------------|----------|
| 平成22年 6月22日(火) 14:00～16:00 | 「スポーツ傷害に対する理学療法」 講師：大阪電気通信大学教授 (医学博士、理学療法士) 小柳 磨毅 | リハビリテーションセンター | 人 100 |
| 平成22年 8月29日(日) 13:00～15:00 | 「摂食・嚥下障害に対する呼吸ケアとリハビリテーション」 講師：大阪大学歯学部附属病院顎口腔機能治療部 (歯科医師) 野原 幹司 | 〃 | 95 |
| 平成22年 9月11日(土) 13:30～15:30 | 「がん(悪性腫瘍)に対する作業療法」 講師：静岡県立静岡がんセンター 主任作業療法士 田尻 寿子 | 〃 | 65 |
| 合計 | | | 260 |

(4) リハビリテーション技術研修会 (対象：障害者自立支援法関係施設職員等)

| 実施年月日 | 研修会テーマ及び講師 | 会場 | 参加者数 |
|-----------------------------------|--|---------------|---------|
| 平成22年 10月16日(土) 10:00～16:00 | 「リハビリテーションの視点から見た食事動作」 ①「食事とは ～食の大切さとアセスメントの必要性について～」 講師：小川医院 管理栄養士 手塚 波子 ②「食事と口腔機能との関係」 講師：綿谷歯科医院 院長 綿谷 修一 ③「食事と動作・姿勢との関係」 講師：リハビリテーションセンター職員(作業療法士) ④「食事と環境との関係」 講師：リハビリテーションセンター職員(作業療法士) | リハビリテーションセンター | 人 34 |

3. 福祉用具研修・普及事業

福祉用具や住宅改修の活用により、障害児・者の学校や職場を含めた日常生活において、自立度の高い生活の促進や介護者の負担を軽減するための支援技術や意識啓発の普及を目的とした研修等の事業を実施する。

(1) バリアフリー啓発普及事業

| 実施年月日 | 研修会テーマ及び講師 | 会場 | 参加者数 |
|-----------------------------------|--|--------------|------|
| 平成22年 10月31日(日) 10:00～16:00 | <テーマ> こども用車いすセミナー及び福祉用具体験会 「石川県障害者ふれあいフェスティバル」 | 産業展示館 4号館 | |

(2) 研修会

①福祉用具実技研修会 (対象：福祉施設職員、介護支援専門員等)

| 実施年月日 | 研修会テーマ及び講師 | 会場 | 参加者数 |
|-----------------------------------|--|---------------|---------|
| 平成22年 10月19日(火) 10:30～15:30 | <テーマ> | 生涯学習センター能登分室 | 人 23 |
| 平成22年 10月21日(木) 10:30～15:30 | 「車いす上での座位姿勢について」 講義「座位のとらえ方と日常生活場面における車いすの機能について」 | 能登中部保健福祉センター | 20 |
| 平成22年 10月26日(火) 10:30～15:30 | 実技「標準型車いすですでできる姿勢保持のための工夫について」 「ティルト、リクライニング機構を使いこなすコツ」 | リハビリテーションセンター | 35 |
| 平成22年 10月29日(金) 10:30～15:30 | 講義・実技講師：リハビリテーションセンター職員 | 南加賀保健福祉センター | 33 |
| 合 計 | | | 111 |

②福祉用具専門職研修会 (対象：理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等)

| 実施年月日 | 研修会テーマ及び講師 | 会場 | 参加者数 |
|----------------------------------|---|---------------|------|
| 平成23年 2月19日(土) 14:00～17:00 | 講義・実技 「暮らしが変わる車いすの適合の考え方と工夫」 ～介護スタッフへの伝え方と地域におけるセラピストの役割～ 講師：(株) ケンブリッジ取締役 小規模多機能ホーム施設長 介護支援専門員・理学療法士 大淵 哲也 | リハビリテーションセンター | 78人 |

③補装具に関する研修会（対象：リハビリテーション専門職、補装具取り扱い業者等）

| 実施年月日 | 研修会テーマ及び講師 | 会場 | 参加者数 |
|----------------------------------|--|-----------------------|------|
| 平成22年 6月27日(日) 13:30～16:30 | 「平成22年度補装具制度の概要と その活用について」 講師：県身体障害者更生相談所職員 リハビリテーションセンター職員 | リハビリテ ーションセンタ ー | 77人 |

④テクニカルエイド普及研修会（対象：教育関係者等）

| 実施年月日 | 研修会テーマ及び講師 | 会場 | 参加者数 |
|--------------------------------|--|------------------|----------|
| 平成22年 8月1日(日) 9:50～15:30 | 講演会 講義「発達療育分野からみた特別支援教育への 期待」 講師：発育塾「ドリームタイム」 作業療法士 木村 順 | 県立いしかわ 特別支援学校 | 人 222 |
| | 分科会 ①講義「育てにくい子にはわけがある」 講師：発育塾「ドリームタイム」 作業療法士 木村 順 | | 47 |
| | ②実技講習「異常姿勢と機能障害」 講師：リハビリテーションセンター職員 (理学療法士・作業療法士) | | 13 |
| 合計 | | | 282 |

⑤福祉用具適合技術研修会（対象：福祉用具専門相談員、介護支援専門員等）

| 実施年月日 | 研修会テーマ及び講師 | 会場 | 参加者数 |
|----------------------------------|---|-----------------------|--------------|
| 平成23年 3月11日(水) 13:30～16:30 | 講義 ①「質の高い福祉用具サービスのために福祉用具 専門相談員に望むこと」 ～介護支援専門員の立場から～ 講師：野々市町地域包括支援センター 介護支援専門員・作業療法士 寺尾 朋美 ②「質の高い福祉用具サービスをめざして」 ～福祉用具適合に必要なアセスメント力と情報 収集力、そして個別援助計画の作成の意義～ 講師：(株)バリオン介護環境研究所 所長・理学療法士 金沢 義智 | リハビリテ ーションセン ター | 人 11 7 |

(3) 県内理学療法、作業療法養成校学生のための福祉用具・住環境技術実習

| 実施年月日 | 内 容 | 学 校 名 | 学 科 |
|--|--|------------------|--|
| 平成22年5月21日(金) 平成22年5月28日(金) 平成22年6月4日(金) 平成22年6月11日(金) 平成22年6月18日(金) 9:45~12:00 | <ul style="list-style-type: none"> 日常生活行為、自動車 シーティング 住環境 移動、移乗 コミュニケーション | 金沢リハビリテーションアカデミー | 作業療法 3年 9人 |
| 平成22年5月31日(月) 13:30~17:00 | <ul style="list-style-type: none"> 移動・移乗 シーティング(座位保持) 日常生活行為 住環境 バリアフリー、ユニバーサルデザイン | 金沢大学医学部 保健学科 | 作業療法 3年 24人 |
| 平成23年2月21日(月) ～ 平成23年2月25日(金) 9:00~17:00 | <ul style="list-style-type: none"> 移動・移乗 コミュニケーション シーティング(座位保持) 日常生活行為 住環境 バリアフリー、ユニバーサルデザイン | 金沢リハビリテーションアカデミー | 理学療法 1年 31人 作業療法 1年 18人 |
| 平成23年2月28日(月) ～ 平成23年3月1日(火) 9:00~16:30 | <ul style="list-style-type: none"> 移動・移乗 コミュニケーション シーティング(座位保持) 日常生活行為 住環境 バリアフリー、ユニバーサルデザイン | 金城大学 医療健康学部 | 理学療法 1年 98人 |
| 合 計 | | | 180人 |

4. 見学実習及び体験学習の実施

(1) 見学実習

| | 大 学 | 短期 大学 | 高 校 | 福祉系 専門学校 | 企 業 | その他 | 合 計 |
|---------|------|----------|------|-------------|-----|------|--------|
| 見学受入団体数 | 1(3) | 1(1) | 2(2) | 6(12) | — | 3(4) | 13(22) |
| 見学者数(人) | 174 | 18 | 48 | 228 | — | 9 | 487 |

※ () 内は延べ団体数

(2) 小・中・高校生向け体験学習 (ジュニアコース)

| | 小 学 校 | 中 学 校 | 高 校 | そ の 他 | 合 計 |
|-----------|-------|-------|------|-------|------|
| 体験学習実施団体数 | 4(4) | 2(3) | 1(1) | 0 | 7(8) |
| 参加者数(人) | 202 | 326 | 26 | 0 | 554 |

※ () 内は延べ団体数

(3) 高齢者疑似体験用具の貸出

| 貸出先 | 小学校 | 。 | 高 校 | 福祉系 専門学校 | 企 業 | その他 | 合 計 |
|------|------|------|-----|-------------|-----|--------|--------|
| 貸出件数 | 8(8) | 4(6) | — | 3(3) | — | 12(16) | 27(33) |

※ () 内は延べ貸出件数

5. バリアフリー推進工房事業

①障害者への支援（住宅改修・福祉用具の適合、工学支援技術の提供）

| | |
|------------------|------|
| ア 医療・福祉機関等に対する支援 | 342件 |
| イ 教育機関に対する支援 | 101件 |
| ウ 更生相談所に対する支援 | 87件 |

②調査研究・研究開発

- ア 身体特性に応じた操作インターフェースの研究：
（既製品の電動車いす操作が困難な方々への操作インターフェースの試作）
- イ 生活・環境適応型車いすの開発研究：（昇降機構装置を用いた車いす部品の試作）
- ウ 就学・就労・生活のための道具・環境づくりの研究：
（標準型車いすにおけるシーティング用品の試作、就学場面で利用する車いす透明
テーブルの試作、書字用自助具ユニバーサルデザイン製品研究）
- エ 建築のユニバーサルデザイン研究：
（公営住宅のユニバーサルデザイン など）

③企業、団体、行政機関に対するユニバーサルデザインや製品開発に関する相談支援

| | |
|---|------|
| ア 企業に対する相談支援 | 348件 |
| ・携帯用スロープの研究開発（津田駒工業（株）） | |
| ・心身共に負担の少ない頸髄損傷者用入力装置の開発（イマセン（株）） | |
| ・安全・軽量で使う喜びのあるシルバーカーの開発（大同工業（株）） | ほか |
| イ 行政、公共団体に対する支援 | |
| ●公的施設等へのバリアフリー化に対する支援 | 66件 |
| ・のとじま水族館の改修工事 | |
| ・しいのき迎賓館改修工事 | |
| ・県営住宅の建設（大桑・鳴和・平和町）ほか、公共施設ユニバーサルデザイン 指導・検証 | |
| ・県道金沢田鶴浜線（50m道路）の歩車道分離に関するユニバーサルデザイン 指導・検証 | ほか |
| ●更生相談所補装具製作に関する相談 | 26件 |
| ●県健康福祉部関連バリアフリー事業 | 92件 |

- ・バリアフリー社会推進事業への協力
- ・バリアフリーマップいしかわ更新事業調査への協力
- ・バリアフリーに関する福祉関係者と建築関係者の検討会への協力
- 医療・福祉施設、教育機関からの最新の福祉用具やバリアフリー環境に関する相談・指導 90件
- 市町、その他障害者団体や専門職団体への福祉用具やバリアフリー環境に関する相談・指導 53件

④「ほっとあんしんの家」の活用

見学者利用： 2,812人

(研究開発利用：29件、教育研修利用：40件、障害者相談利用：120件、一般見学利用：88件)

⑤福祉用具の貸し出し（医療・福祉機関への試用のための貸し出し） 1,012件

6. 難病相談・支援センター 事業

- ①難病相談 821件
 - ア 電話による相談 514件
 - イ 面接による相談 189件
 - ウ メール、FAX.等 22件
 - エ 家庭訪問 96件
- ②患者交流会の開催 25回(104件)
- ③難病研修会 41回(1,099件)
- ④ボランティア育成研修会 1回(3件)
- ⑤連携会議 4回(42件)

7. 高次脳機能障害相談・支援センター 事業

- ①高次脳機能障害相談 738件
 - ア 電話による相談 455件
 - イ 面接による相談 236件
 - ウ メール、FAX.等 19件
 - エ 家庭訪問 28件
- ②生活支援教室 49回(503件)
- ③家族教室 6回(69件)
- ④高次脳機能障害研修会 2回(144件)
- ⑤高次脳機能障害支援関係者連絡会 1回(29件)